

序章

光あふれる舞台

- はじめに 6
三つの映像 7
マックススウェルって？ 10
アインシュタインの成績 12
直感力について 14
天才の脳 17

第1章

特殊相対性理論の芽生え

- 光の白昼夢 20
夢と現^{まへ} 24
思索の傾向 27
ミラノで出会った本 29
物理学と音楽 31
光の学問へのあこがれ 33
憤慨 36
エーテルという存在 39
光は波 40
波だからこそ…… 43
エーテルの不思議 44
アインシュタインも信じていた！ 46

第3章

アカデミー・オリンピック 知的討論

第2章

理想の研究所ベルン

- パリからの手紙 50
- アカデミー・オリンピック誕生 53
- 美しきベルン 54
- カフェ・ボルベック 56
- 理想の研究所 57

- 架空討論の根拠 62
- 舞台設定について 64
- ローレンツの論文との出会い 65
- マイケルソン||モーレイの実験 66
- 第一幕 〳エーテルへの疑問 〳 71
- 第二幕 〳光速度の不思議 〳 80
- 第三幕 〳同時刻への疑問 〳 89

第4章

光の絶対性

- それでも不思議な光速度不変 94
- ポアンカレの本 96
- 時間の定義 97
- 特殊相対性理論の考え方 101
- 帰結 104

第5章

モーツァルトとアインシュタイン

- バイオリンの腕前 108
アインシュタインの楽譜 110
音楽好き嫌い 113
「科学の趣味」と「音楽の趣味」 115
口を閉じよ！ 117

第6章

一般相対性理論の創造

- 特殊相対性理論の弱点 120
エレベーターの思考実験 120
等価原理 126
自己否定く光は曲がったく 129
光速度不変の危機 130
沈黙の三年半 132
空間は歪んでいる 133
まだ自信はない！ 136
確信 138
一般相対性理論の完成 141

第7章

思考のパターン

ソロビーヌへの手紙 146

思考モデルのジャンプと特殊相対性理論 149

等価原理と思考モデル 151

パチンという音 154

創造性の変質 159

終章

現代知性との対話

デイヴィッド・グロス 165

フランシスコ・ヴァレラ 172

パウル・ファイヤーアーベント 175

